

強者の戦略

強者の国語・〔現代文・解答・解説編〕

いかがだったでしょうか。文章自体が抽象的で理解しづらいことに加えて、一二〇字以内に内容をまとめるのも簡単ではないことが実感できました。東大・京大志望者は、単に重要そうな箇所を探したり、本文を抜き出すだけでなく、「一番重要な部分」はどこか、「結局何を言いたいのか」を常に考えるクセをつけましょう。

【解答】

人間は、自己の本来の姿と乖離しているという不安から描く自分と描かれる自分という形で乖離を象徴する画布に自己の本来の姿を求め、描けるのは本来の姿や乖離自体ではなく目で見られた時空だけで、画布にはそのような人間の悲哀が表れているということ。(一二〇字)

【解説】

本文の内容をまとめると、

- A. 第一段落〜第三段落 人間は、「真の自分の姿から隔てられている」という不安から真の姿を求める「問い」を立てる。
- B. 第四段落〜第六段落 画布の意味は「問い」の設立である。
- C. 第七段落〜第八段落 白い画布は、「問い」を設立する以前の不安を意味する。
- D. 第九段落〜第十段落 人間の生は本来の自己と隔てられた不安の中にあるが、画布が写しとるのはその「影」に過ぎず、そこに画布の情趣がある。

となる。ここで、Cの内容はA〜Bでほぼ説明されているため、実質的には解答はA・B・Dの内容をまとめる形になる。

なお、入試国語の解答では「**比喻・曖昧な表現を避ける**（明確化する）」ことが鉄則であるため、今回の場合は特に『「問い」の設立』と「影」などの表現を明晰な形で言い換える必要がある。

また、問われているのが「画布の情趣」であるため、解答は「画布にはくすな気持ち・趣が表れているということ」などの形でまとめること。